

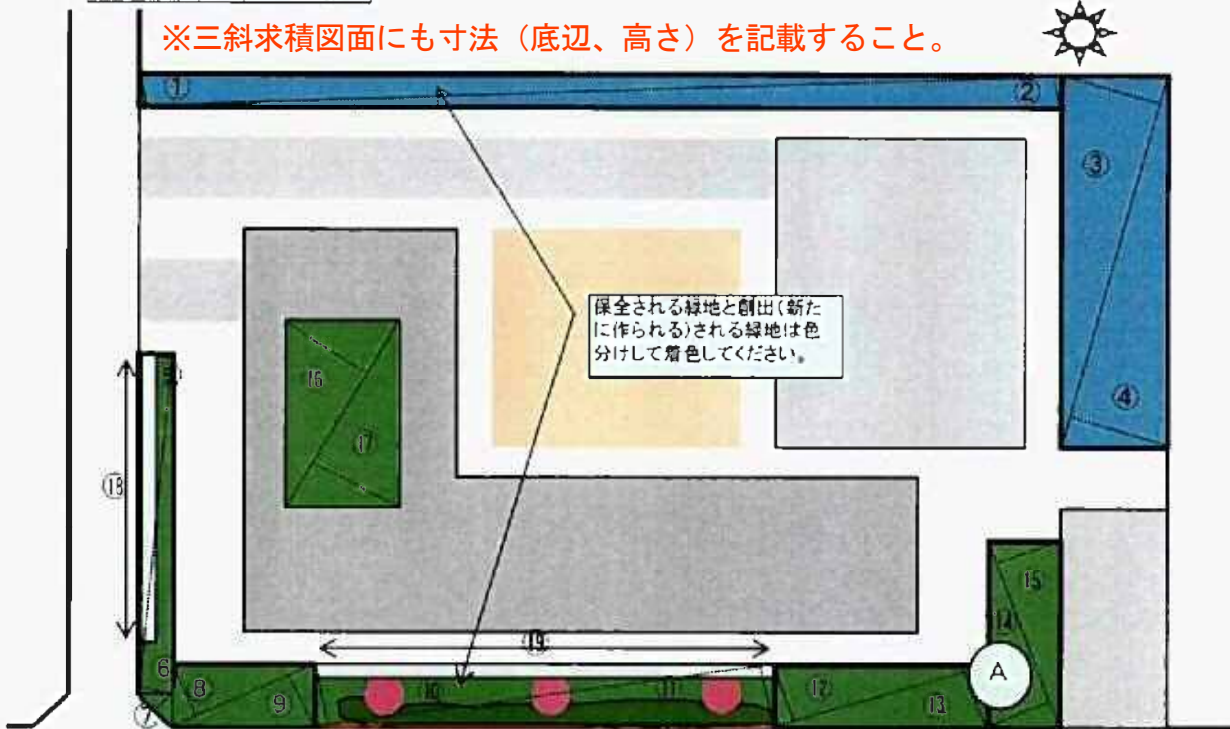
緑化求積図

縮尺1/100~1/200を標準で作成。

※示したページは川崎市緑化指針
タイプA対版と対応しています。



※三斜求積図面にも寸法（底辺、高さ）を記載すること。



緑化求積図
縮尺 1:250

保全される緑地と創出(新たに作られる)される緑地の求積を分けると分かりやすい図面となります。

緑の量の水準の考え方(P5)
※注1

共同住宅の場合、用途地域が商業系と住居系等がまたがる場合、緑化面積率が面積按分となる場合があります。その場合は、用途地域別求積図を添付してください。

記号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	30.00	2.00	60.00	30.00
2	30.00	2.00	60.00	30.00
3	15.00	4.00	60.00	30.00
4	15.00	4.00	60.00	30.00
合計				120.00

記号	底辺	高さ	倍面積	面積
16	10.00	5.00	50.00	25.00
17	10.00	5.00	50.00	25.00
合計				50.00

建築敷地面積 2,000.00 m²

緑化面積率 建築敷地面積に対して20%以上

必要緑化面積 建築敷地面積 × 20%以上
2,000.00m² × 20%以上 = 400.00m²以上

記号	底辺	高さ	倍面積	面積
5	20.00	1.00	20.00	10.00
6	20.00	1.00	20.00	10.00
7	3.00	1.00	3.00	1.50
8	7.00	3.00	21.00	10.50
9	7.00	3.00	21.00	10.50
10	20.00	3.00	60.00	30.00
11	20.00	3.00	60.00	30.00
12	10.00	3.00	30.00	15.00
13	10.00	3.00	30.00	15.00
14	10.00	3.00	30.00	15.00
15	10.00	3.00	30.00	15.00
合計				162.50

記号	面積	0.5倍	面積
10	30	0.5	15.00
11	30	0.5	15.00
合計			30.00

緑化面積 = 緑化地面積 + 屋上緑化 + 接道部緑化
 生垣植栽 + 大景木植栽 + 保全される緑地面積
 = 162.50 + 50.00 + 30.00 + 52.50 + 28.26 + 120.00
 緑化面積は 443.26 m²

記号	高さ	延長	面積
18	1.5	15	22.50
19	1.5	20	30.00
合計			52.50

記号	計算式	面積
A	3.0 × 3.0 × 3.14	28.26

屋上緑化・接道部緑化等6ページに記載されている各種緑化手法については、計画の緑化面積の50%以上の緑化地面積を確保することを前提に、緑化面積に計上することができます。

(計画される緑化面積 × 50%) > (6ページに記載される各種緑化手法の合計面積)

参考例
 443.26m²(緑化面積) × 50% = 221.63m²以上の緑化地面積の確保が前提で、6ページに記載されている各種緑化手法による緑化面積の計上をすることができます。

緑化地面積 = 新たに創出される緑化地面積 + 保全される緑地面積
 = 162.50m² + 120.00m²
 = 282.50m²

6ページに記載されている緑化手法合計面積
 = 160.78m²

地盤面における、樹木(高木、中木、低木)により緑化される一団の土地の総面積(P5)

※求積表は別紙で作成しても可。